

たかおさん
「カシナガのお父さん」の巻

「のぶすま」最新号とバックナンバーを高尾山山頂にある、高尾ビジターセンターにて配布しております。
希望の方はビジターセンター窓口までお越し下さい。

「のぶすま」最新号とバックナンバーを高尾山山頂にある、高尾ビジターセンターにて配布しております。
希望の方はビジターセンター窓口までお越し下さい。

「のぶすま」最新号とバックナンバーを高尾山山頂にある、高尾ビジターセンターにて配布しております。
希望の方はビジターセンター窓口までお越し下さい。

「のぶすま」最新号とバックナンバーを高尾山山頂にある、高尾ビジターセンターにて配布しております。
希望の方はビジターセンター窓口までお越し下さい。

X(旧Twitter)でふりかえる 高尾山ニュース!

高尾ビジターセンターのX(旧Twitter)・Facebookをチェックしていただいているみなさま、いつもご覧いただきありがとうございます！
山頂の気温や天気、旬な自然情報などを毎日発信しています。
2024年1月～3月の間のツイートから、注目のニュースをご紹介します。

高尾ビジターセンター【公式】

天気:雨 気温:4.5°C 富士山展望:×

雨で土が湿り、#ツチグリがたくさん出てきました！
ツチグリは土の中から出てくるキノコで、雨粒がおちる衝撃でばふっと胞子を飛ばします♪

#高尾山 #高尾ビジターセンター



午前10:28・2024年2月22日・1万件の表示

今回、注目度の高かった投稿は、きのこの一種「ツチグリ」でした！
てるてる坊主のようなキュートな見た目が可愛らしいですね♪ 高尾山では、雨が降った翌日などに、山道沿いの斜面で見かけることが多くなります。是非みなさんも探してみてください～！

高尾山山頂から発信！

のぶすま

「のぶすま」とはムササビの古い呼び名です。

vol.75 季刊
2024年春号

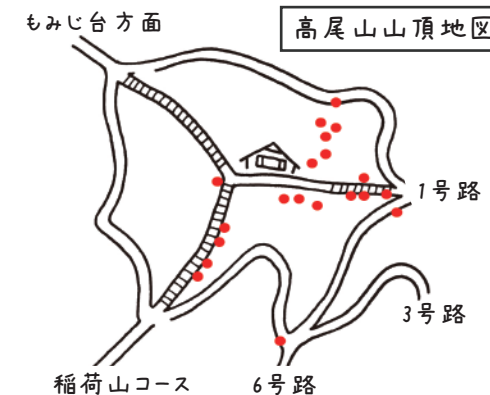
知っていますか？
高尾山のナラ枯れ

夏ごろ、ドングリのなるコナラなどの木の葉がこげ茶色に変わり果ててしまった姿を見たことはありませんか？木が水を吸い上げられなくなり、枯れてしまったため、葉がこげ茶色に変化したのです。枯れてしまった原因は、カシナガガキクイムシ(以後、カシナガ)という昆虫が繁殖のために幹に侵入し、病原菌を植え付け、木の中で病原菌が広がることよって引き起こされた「ナラ枯れ」によるものです。

伐採処理を行った山頂周辺のナラ枯れの被害木



カシナガが入った木には木くず(フラス)が見られます。幹をよく見ると小さな孔(あな)がたくさん開いています。



●:伐採されたナラ枯れ被害木 (2024年3月時点)



ナラ枯れの被害を受けた高尾山山頂のカシワ (2023年12月 伐採)

解説員 ころむ vol.37

積み重ねられた想いが持つ力

皆さんは心を揺さぶられるような言葉に出会ったことはありませんか？私は「趣味の物は独り身の内に買え」という、先輩の言葉が頭から離れません。どこか未練を感じるこの言葉からは、『同じ思いをしないで欲しい』そんな、強い想いが伝わってきました。

このように、人々の想いは言葉と共に後世に受け継がれていきます。そして、受け継がれた想いは時に、「形」へと姿を変えることがあります。

高尾山では昔から山林が手厚く守られてきました。その理由は様々ですが、それぞれの時代の権力者は、破ったものに対して罰則を設けるなど、高尾山の保護に対して強い想いがあった事が伺えます。現代においても高尾山は国定公園として自然を大切に守る想いが守られ続け「殺生禁断」と大きく刻まれた石碑が存在します。「殺生禁断」という言葉は高尾山で象徴される先人たちの想いですが、それを取り囲む美しい景観と生物多様性は、長年積み重ねられた「殺生禁断」という想いに変化した「形」だと言えます。

高尾山で大切にされた想いは、時代の流れに逆らい、大都市東京でありながら現代に豊かな自然を残しました。先人達が積み重ねた想いの強さは計り知れません。私もまた、先輩の言葉に背中を押され、気付けば大変高価な双眼鏡を購入していました。これも形へ姿を変えた想いの一つです。積み重ねられた想いが持つ力とは、本当に強力です…。

〈解説員 おかだ〉

高尾山では2020年頃からナラ枯れの被害がみられはじめ、2023年ではナラ枯れの被害木が200本以上確認されました。ナラ枯れはブナ科の樹木で起こり、高尾山山頂周辺では特にコナラとカシワの被害が目立っています。カシナガは太い木ほどたくさん繁殖するため、高尾山は樹齢を重ねた木が多いことから、被害が拡大しやすいのかもしれない。

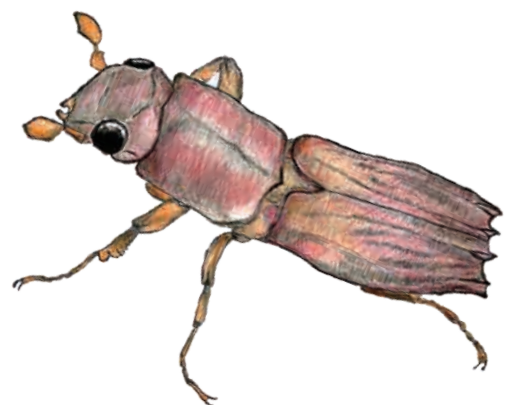
カシナガは木の中で 何をしているのか

種名：カシノナガキクイムシ

学名：Platypus quercivorus

分布：本州、四国、九州、沖縄

生活：一生のほとんどを木の中で過ごす



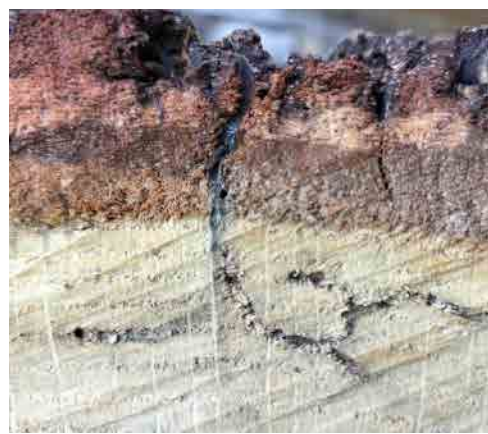
実際の大きさ



体長：5mm



木に飛来したカシナガのオス



カシナガの巣の断面



カシナガの幼虫

カシナガのオスが木に孔を掘り、フェロモンで仲間を誘います。メスは孔を掘り進め、我が子となる幼虫が食べる菌を植え付け、産卵します。メスが持ち込んだ菌の中にナラ類を枯らす菌も含まれます。幼虫たちは6月頃から成虫の姿で孔から出ていきます。

ナラ枯れによる高尾山の変異

ナラ枯れが進行している高尾山で安全に登山するための注意点を3つ紹介します。



落枝・倒木

ナラ枯れで立ったまま枯れた木が登山道沿いでも多く見られます。急な倒木や折れ枝が降ってくることもあるため、速やかにその場から通り過ぎましょう。



樹液の流出

カシナガが木に孔をあけることで樹液が流れます。樹液にはスズメバチ類がよく集まるため、近づかないようにしましょう。



カエンタケの発生

猛毒のカエンタケはナラ類の林の地上に発生し、ナラ枯れの起きた木の周りで見つかる事があります。絶対に触らないようにしましょう。

高尾山の森の今後

加速したナラ枯れ被害をすぐに食い止めるのは他の地域の例を見ても難しいのが現状です。現在高尾山では、登山道上にある倒木の危険がある木から伐採を行い対応しています。被害が続くことで林内にぽっかりと空間ができ、日陰で大きくなれなかった実生や新たな植物に置き換わることで、森の様相が大きく変わるかもしれません。今後も高尾山の森林の変化を注意深く見守っていく必要があります。



ナラ枯れの被害を受けたカシワの伐採跡

<解説員こばやし>

高尾山の れまし

vol.37

高尾山の成り立ちと植物

“高尾山がこの場所に隆起したことは、多種多様な植物を育む奇跡であった”
高尾山という山ができた歴史と植物との関係について、紹介します。

高尾山は、約300万年〜500万年前に海底での噴火を繰り返してできた丹沢山塊が現在の本州にぶつかり海底の岩石が盛り上がり、700万年〜1000万年前に現在の伊豆半島が丹沢山塊にぶつかった勢いで、高尾山周辺の山地がより隆起したとされています。

その時の衝撃の跡である地層が、現在も高尾山の1号路沿いで見ることができます。中生代白亜紀にできた『砂岩と泥岩が交互に重なった岩(互層)』が、ほぼ垂直になって道沿いに現れているのです。白亜紀といえば、植物や恐竜などの生物の種数が格段に増えた進化の時代でもあります。そのため、この地層に化石があってもおかしくなく、もしかしたら、実際に、およそ200万年前に生息していた『ハチオウジソウ』の化石が、高尾山の麓で発見されています。(※むやみに掘ったり、削ったりしないでください)6号路では、衝撃による相当な圧力と熱が加わったことよってできた『粘板岩』を見ることができます。

これらのほぼ垂直になった砂岩と粘板岩の互層に植物が繁茂することができた理由として、「隙間に雨水が入り込みやすい」「風化したことで植物の根が入りやすくなった」ことが挙げられます。ひょんなことで高尾山に根を下ろした植物が、次の世代へとバトンをつないでいったことでしょうか。



1号路沿いで見られる、垂直に露頭した地層

参考文献
新八王子市史自然
八王子市市史編集委員会 二〇一四 三六・三九
月刊地図と学ぶ地図中心通巻五八七特集高尾山
一般財団法人日本地図センター二〇一四 一三・一五

高尾山が隆起した場所も、植生が豊かな山となるのうってつけの場所でした。それは山が2つの気候帯(暖温帯と冷温帯)の間に位置しているからです。暖温帯では常緑樹、冷温帯では落葉樹が生育し、山全体の植物の種数が他の山と比べて格段に多いのです。

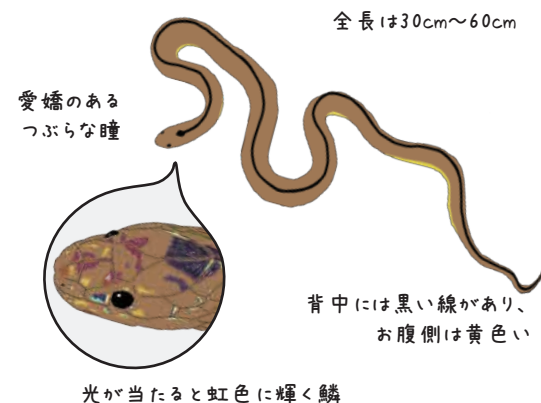
何百万年も前に誕生した高尾山。どのような過程を経て、1300種を超える植物をはじめ、約5000種の昆虫など、たくさんの生きものを育む山となったのでしょうか。過程も気になるころではありませんが、とにかく、高尾山は成り立ちからいくつかの偶然が重なって『植物の宝庫』となったのです。そんな奇跡の山を、大切に思っています。ただけなら幸いです。

<解説員 いしかわ>

<解説員 なかの>

見つけやすい時期：春から秋
場所：4号路・6号路(湿度の高い場所)

穏やかな性格をしており、毒性はありません。主にミミズを食べるため、普段は落ち葉の下に潜って生活しています。また夜行性なので日中はあまり活動せず、日暮れから動き出すため、見つけ難く幻のへびと呼ばれています。このへびに運良く出会った時、虹色の曲線の美しさには誰しも見惚れてしまうと思います。



全長は30cm~60cm

愛嬌のあるつぶらな瞳

背中には黒い線があり、お腹側は黄色い

光が当たると虹色に輝く鱗

カラキホヘビ
幻のへびは虹色に光る



解説員の

vol.33